

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	日成工業株式会社	代表者	池田 郁乃	法人・事業所の特徴	・調理師免許保持者、又は料理の得意な職員による利用者様への料理提供。 ・重度の方でも対応可能なスロープ浴槽での入浴を提供。 ・介護職員による、利用者様、家族様に対する丁寧な対応。 ・独自の社内研修を実施し、職員の資質向上を図る取り組みをしている。
事業所名	小規模多機能つどいの郷 八重桜	管理者	三河 秀治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		人	人	人	人	1人	人	3人	人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員が積極的に行動でき、チームとしての意識の中で個人での考えをまとめ、状況に応じた対応ができるように努める。	個人に委ねるものは各々考えながら出来ていた。全体で見ると方向が定まっていなく、まとまりが無いようにも感じた。		スタッフが個々に出来る事を増やし、全体がまとまりをもち、同じ目標を達成できるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の環境を見直し、使用しているただく方に有意義な環境を整える。	コロナウイルスがまだ蔓延している中、外部の方の出入りは難しく、事業所内での衛生管理に重点を置き、環境を整えた。		利用者様が安全、安楽に生活できるような施設として、居心地のよい事業所となるよう環境整備する。
C. 事業所と地域のかかわり	感染防止として地域との関わりを最小限に保ちつつ繋がりを維持し、事業所として出来る事を推進し進める。	地域としてもコロナウイルスの影響でイベント等は少なかつた。町内会でのゴミ拾いや、古紙回収などに参加できた。	行政や警察署よりSOSネットワークについて周知するよう頼まれています。事前登録で登録されると安心かもしれません。	地域行事や日中活動の参加を増やし、地域との繋がりを利用者様、職員と意識し地域資源と認識して頂く。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域でのイベントや行事等がないが、可能な限り参加活動し、いつでも協力出来る体制を整えておく。	地域との交流が少なかつた。町内会の活動を把握しきれていなかった。		地域と交流する機会を積極的に作り、事業所を活動の場になるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の開催は定期的に行い、ご家族様や地域住民の意見を聞き、事業所運営に活用していく。	定期的な運営推進会議の開催はできた。対面での会議も開け、これかからも有意義な会議の開催をしたい。		今後も運営推進会議を通じて、事業所の改善点や取り組みを報告し、より良い施設作りに努める。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災に対しての研修や学習は、事業所内、又は個人的にも理解し、スムーズに行動出来るように準備を怠らない。</p>	<p>洪水対策は改めて事業所でマニュアルを作成し周知している。防災訓練は今まで通り年二回実施する。</p>	<p>防災や災害のマニュアルを初めて見せていただきました。</p>	<p>地震や洪水などのマニュアルは年に一度は見直し、状況によっては職員での訓練を行う。防火訓練は年二回必ず実施。</p>
----------------------------	--	---	-----------------------------------	--